

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年5月13日 NO.13 (113)



オオムラサキツツジ (ツツジ科)

オー君 「あ！この花、見たことあるぞ。どこだったかな。うーん。どこだったかな。」

モンタ博士「学校の近（ちか）くだよ。そうだな……。学校から70mか80mかな。」

花ちゃん 「わたしも見たことあるわ。どこだったかしら。ふーむ。どこだったかしら。」

モンタ博士「あのね、この花のある場所（ばしょ）はね、校門から西のほうに行く道にあるんだ。モンタ博士が、いつも谷保駅から歩いてくる道にあるんだ。モンタ博士は、毎日見ているよ。毎日歩く道で、いつどんな花が咲（さ）くのか調べると、とても楽しいと思うよ。」

オー君 「その通りですね。ところで、モンタ博士。このお花の名前は、何というのですか。」

モンタ博士「これは、オオムラサキツツジというんだ。」

花ちゃん 「ツツジにはいろいろな種類（しゅるい）があるんですよ。モンタ博士。」  
モンタ博士 「そうだよ。今はツツジの咲く季節（きせつ）だからね。いろいろとさがして楽しもうね。」  
オー君 「でも、どうして、ツツジというのかな。」  
花ちゃん 「わたし、知（し）ってるわ。筒（つつ）のように咲くからなんだって、それから、つぎつぎに咲くからツツジというらしいのよ。」  
オー君 「へえーすごいな。花ちゃん。尊敬（そんけい）しちゃうよ。」  
モンタ博士 「すごいね。花ちゃん。大したもんだ。パチパチパチ！ところで、二人とも、花をよーく見たことあるかな。一つ自分の手に取ってゆっくりと観察してみようよ。何か発見があるかもしれないよ。」  
花ちゃん 「そうですね。名前がわかったからといって、全部（ぜんぶ）がわかったわけではないですね。よーくしっかりと見てみましょう。」  
オー君 「ふーむ。何か発見できないかな……。じろじろジロジロ……。あ！」  
花ちゃん 「オー君！何か発見したの？」  
オー君 「ほら！見てごらんよ。花びらは5枚にわかれているけど、下はくっついているでしょ。おもしろいなあと思ったのは、その5枚の花びらの一部（いちぶ）だけに、黒い点々（てんてん）があるんだ。」  
花ちゃん 「ほんとうだ。オー君！大発見だね。でも、どうしてそんな点々があるのかな。」  
モンタ博士 「そうだね。その点々にはどんな意味（いみ）があるのだろう。それを考（かんが）えることが大切なことさ。自分で知っていることをいろいろと思い出して、まちがってもいいから考えてみようよ。」  
オー君 「そうか、わかったぞ。この点々は虫たちのためのものさ。」  
花ちゃん 「それって、どういうこと？」  
オー君 「つまり、この点々は、ここに蜜（みつ）があるという目印（めじるし）さ。」  
モンタ博士 「その通りだね。だから、ツツジの花にはいっぱい蜜があるんだよ。」  
花ちゃん 「わかった。それで、ツツジの花を口ですうと、あまいんだわ。」

※国立てくてく 11 号のソラマメクイズの答・・・ベット・ねどこ（どちらでも正解）